

朝礼 校長講話（２月２６日）

曜日の関係やインフルエンザの影響で約１か月ぶりの朝礼となりました。そして、気がつけば、先ほど山端先生も言われたように、３学年がそろそろ最後の朝礼となってしまいました。そんな最後の朝礼で、たくさんの人たちの活躍を紹介することができ、大変うれしく思います。

活躍といえば、昨日、平昌オリンピックが閉幕しました。皆さんもテレビや新聞、インターネットなどでその活躍に釘付けになったことでしょう。どんな場面が心に残っていますか。テレビや新聞の報道を見ていると、金メダル獲得！、過去最多の１３個のメダル、と「メダル」に関する報道が多くされています。しかし、みなさんには「１２４」という数を知ってほしいと思います。これは、今回のオリンピックに参加した日本選手の数です。報道機関がメダルを獲得した選手のことを中心に時間を割いたり多くの紙面を割いたりして報道することは仕方がないことだと思いますが、活躍したのは、メダルをとった人だけではないと思うのです。もちろん、メダルを手にした人たちは、そのために想像を絶するほどの努力をして「メダリスト」という称号を手に入れたわけですから、それはとてもすばらしいことだと思いますしすごいことだと思います。

しかし、メダルに届かなかった選手、入賞できなかった選手は努力してこなかったのかいうと、そうではないと思います。何十万、何百万、という同じスポーツをしている人たちの中で、日々練習を積んで、オリンピックに出場することができた１２４人の人たちは「オリンピック」と呼ばれますが、そのオリンピックになったこと自体がすごいことだと思います。

いつものように、これを弥富中学校に置き換えてみると、先ほどステージに上がって賞状を紹介した子たちはもちろんすばらしいし、胸を張ってくれていいと思いますが、賞状を手にすることはできなかったけれど、ユニホームを着て試合に出た子、ユニホームを手にすることはできなかったけれど３年間部活動がんばった子、勉強がんばった子、そのどれもがすばらしいことだと思います。そして、そうやってがんばってきた３年生が弥富中にはいます。最初にも言いましたが、３年生は３月６日に卒業式を迎えます。今週は３年生を送る会もあります。ともに過ごす時間はだんだんと少なくなりますが、そんな３年生の姿をしっかりと目に焼き付けて、お別れの日を迎えましょう。